

## 模擬事例を通して考える地域包括ケアの在り方

### 発表の目的

地域包括ケアのメリットについて模擬事例の担当者会議を通して確認するとともに、メンバーの実習における学びについて発表する。

### 模擬事例

#### 利用者情報

Aさん（80歳 女性）

要介護3

夫と同居（市内に長男夫婦、県外に長女夫婦在住）

ADL 左半身麻痺

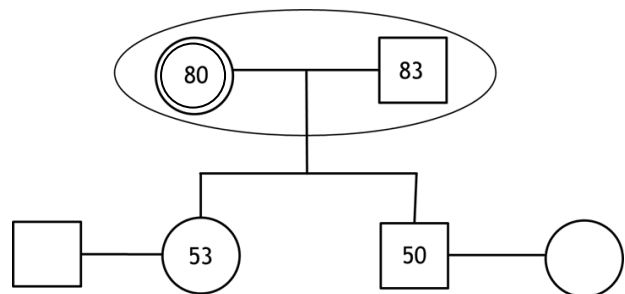
移動 車いす

移乗 要介助

排泄/入浴 要介助

衣類の着脱 要介助

食事 自立（見守り）



#### 支援経過

脳梗塞を再発し、〇〇病院（急性期）で手術

△△病院（リハビリ）に転院し、3か月のリハビリ治療後退院

□□居宅介護支援事業所の介護支援専門員が担当となり在宅生活を送る

数か月後、Aさんに左半身拘縮が見られ、夫からの虐待を疑う通報がヘルパーから入った

#### サービス利用

福祉用具レンタル

デイサービス 週4回

ホームヘルプ 週6回

訪問看護 週1回

その他 宅食 週3回、娘と息子の訪問

#### 会議概要

##### 出席者

Aさん	(中島)	本人 要介護3
夫	(鶴鷹)	同居 主たる介護者
長男	(松田)	市内在住
介護支援専門員	(栗林)	居宅介護支援事業
社会福祉士	(小林)	地域包括支援センター
サービス提供責任者	(本田)	訪問介護事業
生活相談員	(北谷)	通所介護事業
看護師	(八幡)	訪問看護
福祉用具専門相談員	(庵奥)	福祉用具貸与事業

## 議題

家族の介護負担を目的としたサービス内容の見直し

## 事前準備

- ・ 利用者本人やご家族に、特別養護老人ホームの利用も視野に入れたサービス見直しを行ってもらうため、各専門職には日程調整等を行う段階でその旨を伝える。
- ・ 地域包括支援センターの社会福祉士（小林）に特別養護老人ホームの資料を依頼

## 会議の流れ

1. 開始の挨拶・参加者紹介
2. 会議の目的の説明
3. 議題に関する話し合い・意見交換
4. 利用者・ご家族への説明と確認
5. 内容のまとめ・整理・確認
6. 終わりの挨拶

## 結果

☆地域包括ケアを取り入れるメリットがわかった。

- ・ 介護度にかかわらず、連携して支援を続けてきたことで、スムーズに次の支援へ結びつけることができた。
- ・ 各専門職の意見を柔軟に取り入れた支援計画をつくることができた。